

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 加茂高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和5年12月7日(木) 15:00～18:00
- 3 開催場所 加茂高等学校同窓会館2階会議室
開催にあたり、委員による授業参観(全日制・定時制)を実施した。
- 4 参加者

副会長	松井 彰 良	ウインズコーポレーション 代表取締役
委 員	桑原 みち子	定時制教育振興会長
	松尾 和 樹	可児市議会議員 NPO法人縁塾
	武市 由紀子	元特別支援学校校長
学 校 側	森川 賢 二	校長
	高水 正 明	副校長
	小林 竜二郎	教頭
	松久 潤	教頭
	伊藤 強	事務部長
	山中 徹 也	教務主任(全日制)
	箕浦 涼	教務主任(定時制)
	酒井 宏 昌	生徒指導主事(全日制)
	武藤 秀 彦	生徒指導主事(定時制)
	水口 智 人	進路指導主事(全日制)
	渡辺 純 也	進路指導主事(定時制)

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和5年度学校評価集計結果及び分析について(全日制・定時制)

全日制・定時制とも、7月に実施した学校評価アンケートの結果に対して、学校運営協議会委員からご意見をいただいた。

意見1：遅刻、欠席のカウントについて、遅刻や欠席は転退学と関わりはあるのか。

⇒1年生の4月は遅刻が少なく、5、6月に増加している。数が多かった生徒が転学するというケースはある。2年生は数が多かったが、教員との面談等を通して立ち直った生徒と、転学した生徒がいる。起立性障害等の遅刻は含まず集計している。

意見2：制服等に変化がみられる。学校でのモラル教育はどの程度まで行っているのか。

⇒生活のきまり(校則)は、かなりシンプルなものになっている。ピアス、染髪等についても個々に話を聞くなど個別に対応するケースが増えている。生徒指導については、丁寧な指導、全職員で指導、見逃さない指導を心がけている。

意見3：近年、通信制に転学する生徒が増えている。その後の追跡はしているか。

⇒ペースが出来ていない生徒は時間がかかる。一方で気持ちの整理をつけて、レポートなどに取り組める生徒は頑張っている印象がある。追跡もしていけるとよい。

意見4：統計をみると、欠席が増えている時期があるが、その主な原因は何か。

⇒4～5月、集団で生活することや人間関係づくりが苦手で、うまくスタートが切れず休んでしまう生徒が数名いた。また、生活のリズムができず欠席し始め、長期欠

席となってしまう生徒がいる。教員との面談等を繰り返すなど、生徒に寄り添う指導を心がけたい。加茂高に入学してよかった、と思う生徒が増えるように働きかけ、地域から信頼される学校づくりをしていきたい。

意見 5：定時制においては、家庭的な事情で休学になる生徒がおり、とても心配である。
⇒保健室で悩み等を相談している生徒が多く、養護教諭の存在は心強い。保健室と連携し、教員との情報共有を心がけている。

意見 6：不登校や長欠の生徒に対して、どのような対応をしているのか。
⇒面談や保護者との連携など、個別に対応をしている。また、学校に常駐するスクール相談員や、スクールカウンセラーに繋いだりしている。

意見 7：通信制に転学しても卒業が難しい生徒が多いと聞く。現在進んできている通級指導なども活用して、自分らしく生きる力をつけられるとよい。どの課程においても、困った時にどうするかといった生きる術を身につけて卒業して欲しい。

意見 8：本日、学校や生徒の様子を見させていただいたが、生徒からは高評価を得られている。保護者の「わからない」との回答への理解に努めることは必要かもしれないが、一番理解しているのは生徒なので、本校のよさを生徒から保護者に伝えられるとなおよい。今後もバランスのとれた生活を心がけて欲しい。

意見 9：工事の騒音が気になった。校舎改修工事は、どんな予定になっているのか。
⇒現在、第 1 棟の躯体解体を行っている。工期の関係もあり、騒音がでる作業もあるが、週 1 回、業者との打ち合わせを行っており、考査や授業に支障がでないように作業を土曜に振り替えるなど、配慮をいただいている。

(2) 地域探究活動「地域の大人と語る会」及び「地域課題研究」について（全日制）

総合的な探究の時間の一環として実施した「地域の大人と語る会」（第 1 学年）及び「地域課題研究」（第 2 学年）の授業参観の後、学校運営協議会委員からご意見をいただいた。

意見 1：講師の方々には、地域探究活動のために協力いただき感謝している。実施 5 年目になるとのことだが、スムーズにまわっている印象を受けた。

意見 2：政治に関する分科会では選挙の話聞くこともでき、高校生が考えるよい機会になっている。現代は大人になるスピードが早く、対応力が求められているので、さらに深掘りができるとよいと感じた。

意見 3：地域の方々の意見を聞くよい機会となっている。大学への進学も大切なことであるが、これからはそれに加えて、社会貢献や地域貢献ができる人材になることが求められている。さらに自分がどう生きるか、どうありたいかを考えられるようになって欲しい。

意見 4：各分科会それぞれに特徴のあるプレゼンやトークが行われており、とても興味深く参観させていただいた。定時制でもぜひ同様な取り組みをやって欲しい。

意見 5：定時制の生徒は仕事の後に学校に通っており、一人ひとりが夢を持つためにも、多くの大人と関わって欲しい。進路決定においても正規雇用の大切さも知って欲しい。

意見 6：現代は「自分らしさを見つける」ことが大切な時代である。自分らしくどう生きるか、また将来を見据えて地域の方とどう接するかという観点から、今回のような取り組みは大切であると感じた。地域の方々にも協力を願い、今後もどんどん続けて欲しい。

意見 7：高校生のキャリア教育はとても大切である。今年度は好奇心や探究心を育てるため、チャット G P T を活用する取り組みを行ったが、生徒は一生懸命に取り組み、とても楽しそうな姿もみられた。また、休み時間や家でも取り組んだという声も聞かれた。今後の活動に繋がるとよい。

意見 8 : 今回のような話を聞いたあとに、高校生が実際に現場でどのように生かしていくか、今後が大切だと感じた。地域の協力が必要であり、これが次につながる機会になればよいと思う。

意見 9 : 本日の講話やワークで高校生の想像力に関心させられた。今回の取り組みがよい機会となり、今後も継続的に実施していけるとよい。市への提言等も独創的で楽しみである。

(3) まとめ

第 2 回学校運営協議会では、本校全日制で実施されている「地域探究活動」について、学校運営協議会委員に参観していただき、ご意見をいただいた。今年度はできなかったが、活動に尽力いただいた地域の講師の方々と意見交流をする時間がとれるとよいと感じた。探究活動をしっかり行った生徒は、主体的な姿勢をもち、自ら考え、判断・表現ができるようになると感じている。今日求められている「自ら課題を見つけ、皆と協働し、課題解決にあたる人材」となれる生徒を育てたい。また、令和 5 年度の学校の様子を説明するとともに、学校評価アンケートの結果から様々なご意見をいただいたので、今後の教育活動に生かしていきたい。